

JHFREPORT



第8回JHFハンググライダー・パラグライダーフォトコンテスト応募作品 多賀純一「Glory」

滑空機・熱気球の3氏が国際航空連盟賞を受賞。

9月20日は「空の日」。毎年この日に合わせて日本航空協会では表彰式を行っています。今年も9月21日（火）に予定されていましたが、東京都の緊急事態宣言が解除されていなかったため延期となり、11月1日（月）に開催される運びとなりました。併催される国際航空連盟（FAI）賞伝達式では、二つの賞の授与が伝達されます。

●ポールティサンディエディプロマ

航空一般、特に航空スポーツ発展のために献身的努力を傾注し、団体組織

等で指導的役割を果たし、その業績が顕著である個人に授与される賞。今年、日本滑空協会の常務理事／事務局長を長く務め、FAI国際グライディング委員会の日本代表委員を12年間務めてこられた甲賀大樹さんが受賞。

●FAIエア・スポーツ・メダル

航空スポーツに関連した委員会業務、競技会運営、若年層の教育訓練等に顕著な功績や貢献があった個人または団体に贈られる賞。

今年は、栃木熱気球クラブ代表であ

り渡良瀬遊水地エリアの飛行環境維持に貢献されてきた神島馨さん、九州グライダースポーツ連盟理事長を務め九州地域のグライダー活動の発展に貢献された陣内靖介さんのお二人が受賞。

HGクラス1日本選手権、PGアキュラシー世界選手権、PG世界選手権、HGクラス5日本選手権と、カテゴリー1・2の大会も「戻って」きました。感染対策を怠らず少しずつ慎重に前進していきたいものです。どうぞ安全に！

スポーツ&LIFE

JHFレポートはスポーツ振興くじ助成金を受けて発行しています

JHFフライヤー宣言

1. 自分の意志と責任でフライトします。
2. 自己の健康管理を行い、健全なフライトをします。
3. 社会のルールを守り、第三者に迷惑をかけません。
4. 自然を大切にします。

ランディングアプローチでの事故について

(事故報告書データベースより) JHF安全性委員会 目黒 敏

2002年に事故報告書のデータベース化を開始してからの事故報告件数を見ると、2002年の事故件数43件から2009年の14件まで、報告件数が毎年減少し続けたが、2010年の15件から2018年の37件まで毎年件数の増加がみられました。

直前行動別件数 2015～2020年

	HG	PG	MPG
離陸	2	16	2
直線飛行	5	23	3
旋回飛行	5	19	6
着陸進入	8	35	3
着陸	3	10	0

た。しかし、翌2019年は34件、2020年23件と再び減少しています。2021年7月末現在の件数は14件で、2020年同月末の17件よりも少なく、この減少傾向が維持されることを期待しています。直近10年間（2011年～2020年）のデータで事故による重傷と死亡事故件数を集計すると、ハンググライダー（HG）で年平均2人、パラグライダー（PG）で12人、モーターパラグライダー（MPG）で3人となっています。死亡事故ではパラグライダーの年平均4件が顕著です。

このデータベースの中で、2015年～

2020年の事故者の直前行動では、パラグライダーによる「着陸進入」による事故が35件と、突出しています。そこで、このパラグライダーによる「着陸進入」による事故35件を、より詳細に見てみたいと思います。以下のグラフはすべてこの35件の報告書によるものです。

1. タイミングと場所

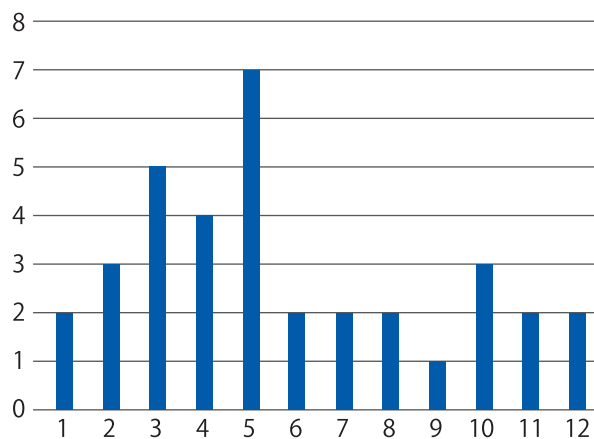
月：5月が突出している。

季節：春が突出しているが、他の季節はどれも変わらない。

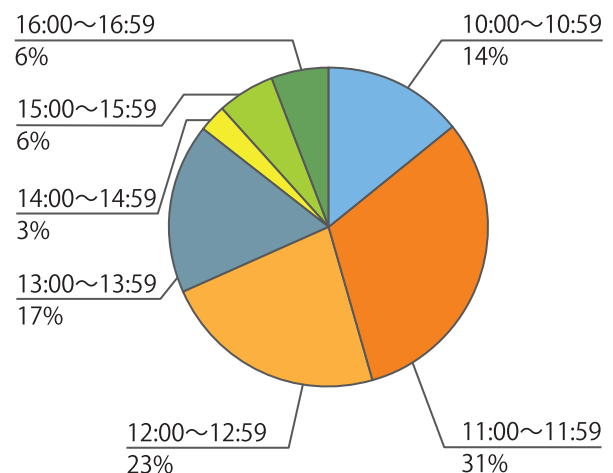
時刻：11:00～12:59の2時間で全体の

タイミングと場所

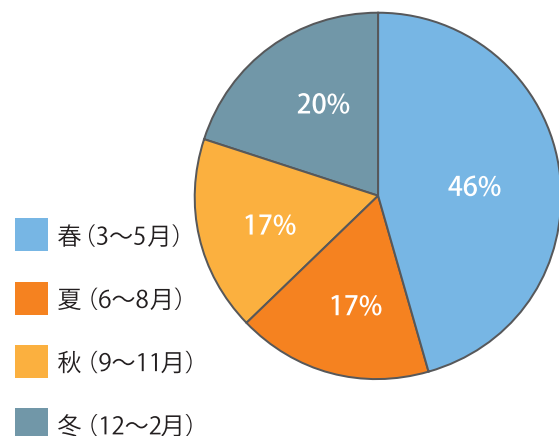
月別事故報告件数



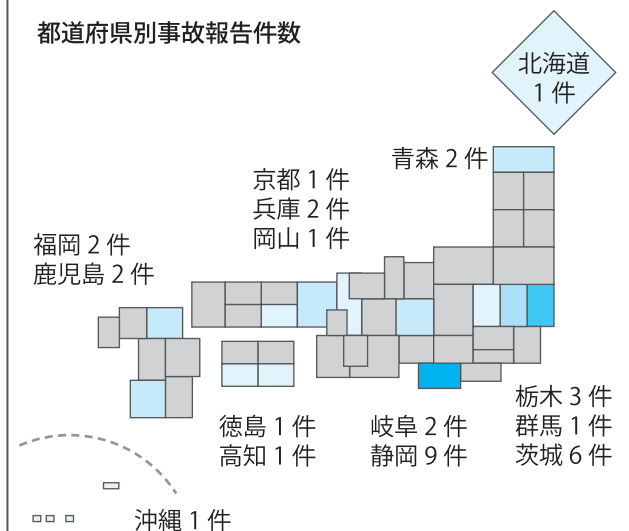
時刻別事故報告件数



季節別事故報告件数



都道府県別事故報告件数



50%以上を占めている。
地域：首都圏周辺に集中している（参加人口の偏りによるものと思われる）。

2. コンディション

天候：快晴と晴れで72%を占めている。その一方、曇りでも20%となっている。

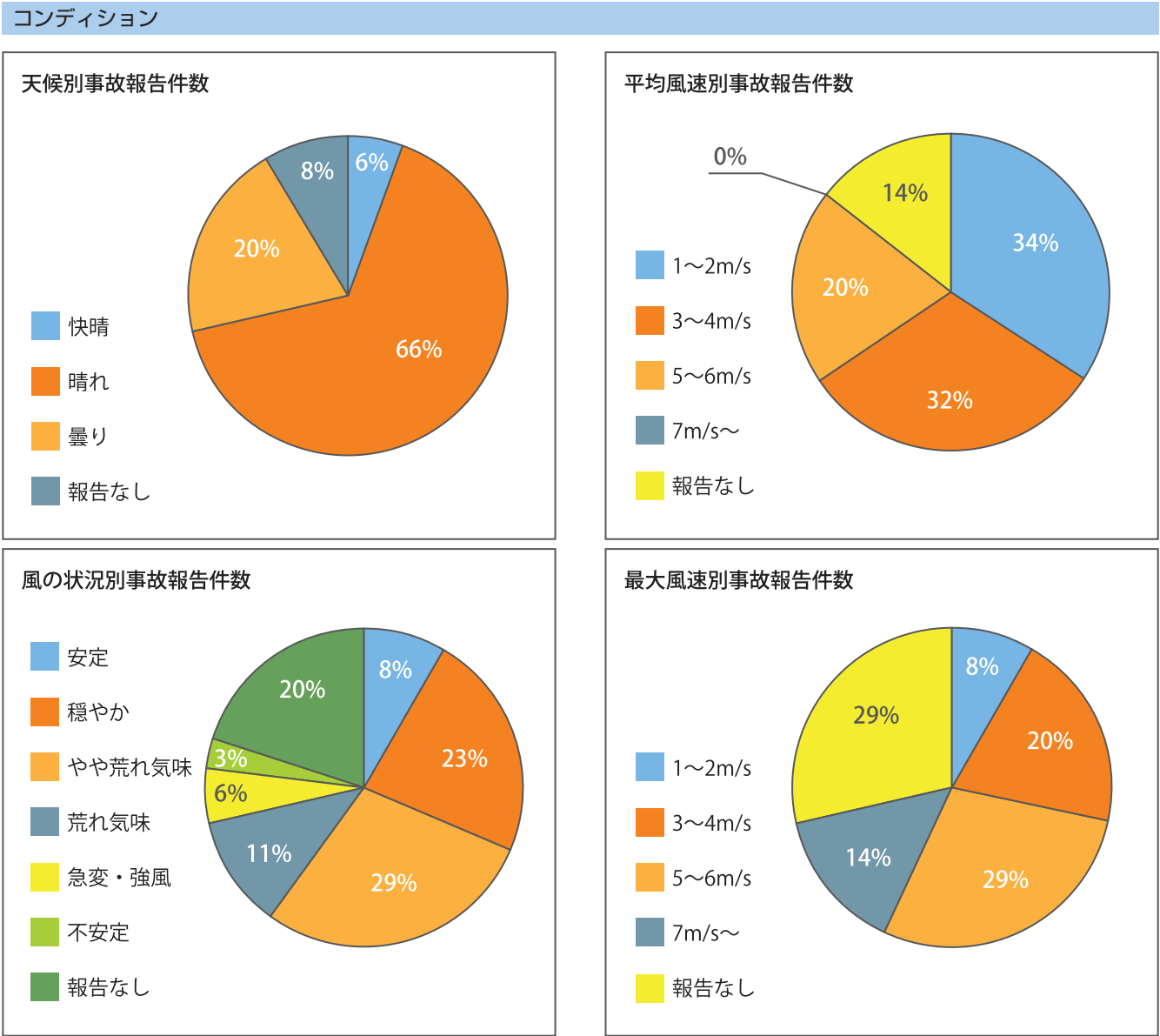
風の状況：やや荒れ気味、荒れ気味、急変・強風、不安定で49%を占めている。その一方、安定、穏やかでも31%を占めている。

平均風速：1～2 m/s、3～4 m/sで66%を占めている。

最大風速：5～6 m/sが29%と多くを占めている。1～2 m/s、3～4 m/sでも、合わせて28%を占めている。



報告のあった事故のなかで着陸進入中が最も多い。（写真は記事の内容に関係ありません。）



3. 飛行目的・発生要因・機体クラス

飛行目的：一般のフリーフライトがほとんどとなっている。

発生要因：失速（ターンと直線フライトと合わせて）が34%を占めている。

機体クラス：Bクラスが多くを占めている（流通している比率に近いと思わ

れる）。

4. 技能証・経験年数・年齢

技能証：P証とXC証で80%を占めている。

経験年数：10～15年、16年以上で57%を占めている。

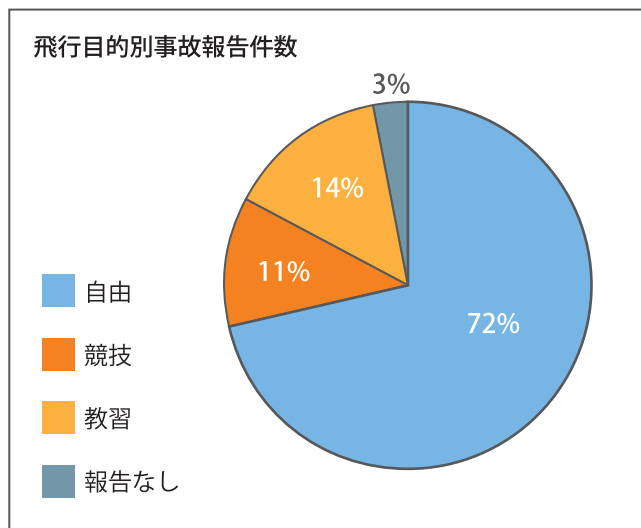
年齢：60歳代が29%と目立っている。

5. 傷害部位・傷害内容・傷害程度

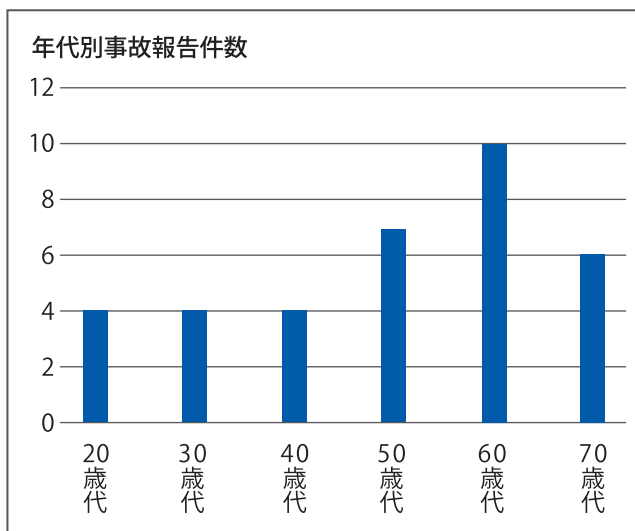
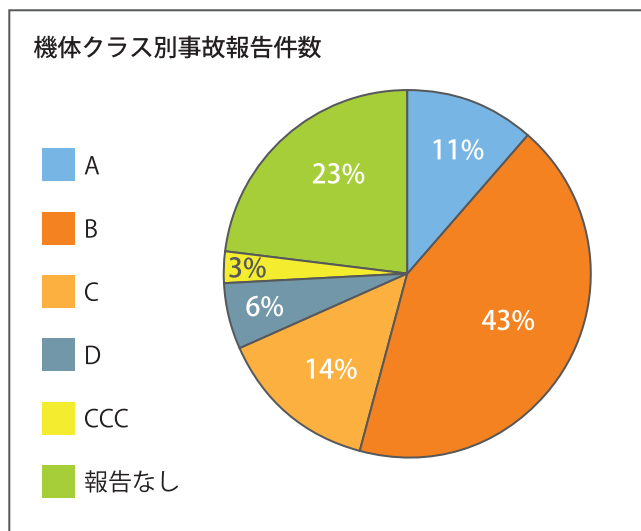
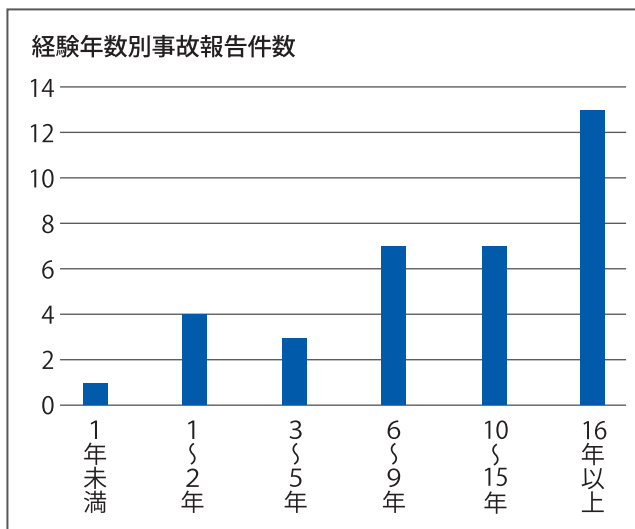
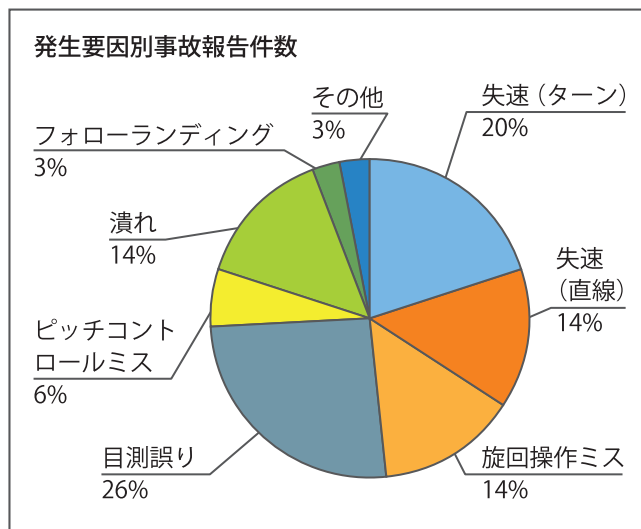
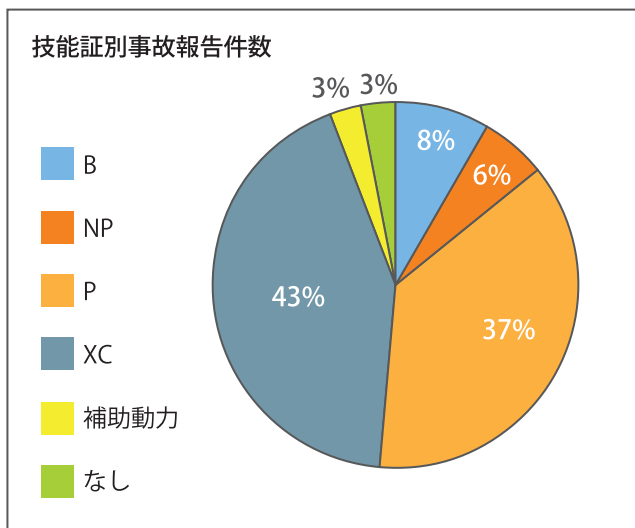
傷害部位：腰部・腰椎のけがが突出している。

傷害内容：骨折が大部分を占めている。
傷害程度：重症が66%を占めている。

飛行目的・発生要因・機体クラス



技能証・経験年数・年齢



6. 考察とまとめ

ここでは、パラグライダーの「着陸進入」によると報告されている事故35件を整理してきました。そこから、みてきた安全対策をあげてみます。

①コンディションの変化も考慮して、着陸するタイミングをはかる。ソアリングできないスクールレベルの場合は、ランディング場のコンディションが整っているタイミングで着地できるようテイクオフするタイミングを調整する。

②荒れ気味であったり、不安定なコンディションでのフライトは、より慎重に。安定して穏やかなときもサーマルの影響もあるので油断しないこと。

③日常的なフライト（自由飛行＝フ

リーフライト）でも、慣れすぎることなく、冷静に状況判断すること。競技では力むことなく普段とは違う特別なことをしようとせずに楽しむこと。機体のストール特性やコントロール性の理解を深めるために、グランドハンドリングやローリングのトレーニングを普段から行うこと。

また、ハーネスセッティングを適正に行い、コントロールしやすいものとする。

機体クラスはBクラスを選ぶパイロットも多くなっているので、大きな問題は起こりにくいようだが、何らかのアクシデントや古くなってしまったことで変わってしまうので、キャノピーのコンディションとラインバランスなどのチェックは常に行うこと。ときには、新しいモデルを積極的に使うことで、ストールのリスクを減らすこ

とができる。

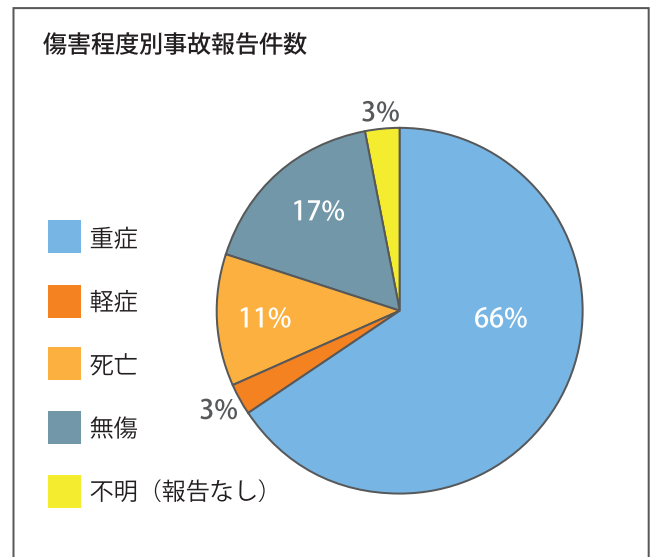
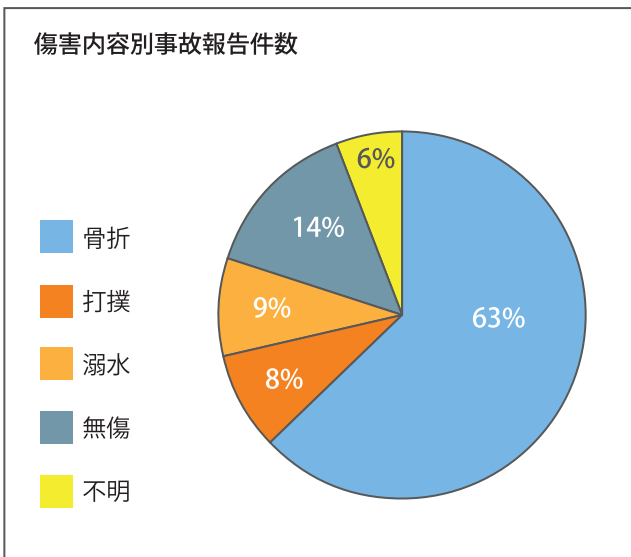
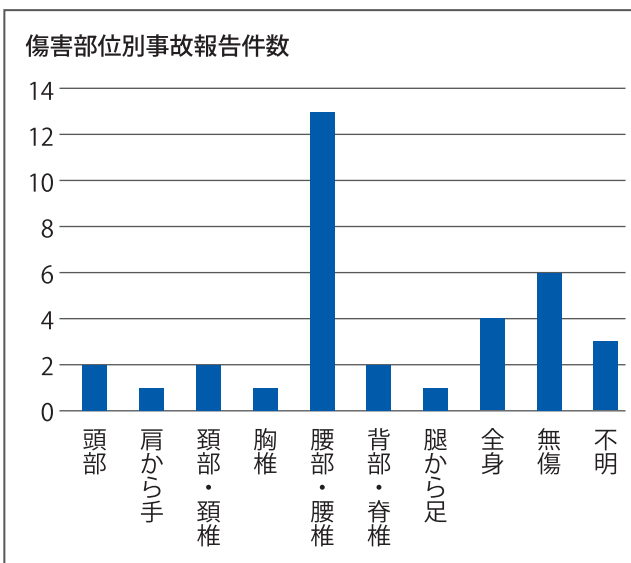
④パイロットやXCパイロット技能証を持っていることや経験が長いことにおごることなく、油断しないでフライトし、冷静に自然状況の変化を感じ取ること。

年齢を言い訳にすることなく自然の変化を受け入れ、後進のために見本となるようなフライトを！

60歳代の事故報告件数は多いようにみえるが、参加人口の多い年代がそのまま反映されているため、とくに60歳代がリスクが高いとは言えないようだ。

⑤着陸進入（ランディングアプローチ）では、低高度であるため、アクシデントがあると重症になりやすく、パラグライダーは座った姿勢のため（近年はハーネスのバックプロテクター性能が充実しているが）、腰椎（圧迫骨折）のけがをしやす。

傷害部位・傷害内容・傷害程度



安全は、パイロットが注意するだけでは確保されません。また、スクール（またはエリア管理者）が注意するだけでは同様に確保することはできません。パイロットとスクール（またはエリア管理者）が様々な安全に関する情報を共有することが必要なのはいうまでもありません。

さらにJHFへも事故報告をお寄せください。たとえ、無傷であったとしても、事故らしいことを見かけたというレベルでも、報告いただければ、全国のフライヤーと情報を共有することで、安全対策につながります。

JHFの動き

福島県の小学生が浮遊体験 航空教室を後援

スカイスポーツの魅力を紹介するため、10月3日(日)、ふくしまスカイパークで開かれた「きぼうのとり航空教室」(主催:福島民報社)体験会を後援。福島県在住の小学生20名にハンググライダー・トーイングで体験を楽しんでもらいました。



福島の小中学生20人がハング体験。撮影:松本弘美



参加者たち。提供:福島民報「きぼうのとり航空教室」

レスキューパラシュート リパック認定証規程を改定

JHFレスキューパラシュートリパック認定証規程を改定、2022年1月1日

に施行します。

現在の規程では「リパック認定証を持つ教員」であれば、リパック認定証の実技及び学科の検定を実施できますが、この度の規程の改定により、リパック認定証の検定は「教員検定員」のみが実施できるようになります。

【改定の理由】

以前はラウンドタイプとログロタイプの2種類のレスキューパラシュートのみが流通しており、検定ではもっぱらラウンドタイプが使用されてきました。近年、スクエアタイプ、ハイブリットタイプなど、さまざまな種類のパラシュートが発売されており、リパック認定証保持者には多様なパラシュートに対応した正確な技術が求められています。

現状では、リパック認定証を有するすべての教員に対して、多様化するパラシュートに関する教育や情報共有を実施することができません。教員検定員には情報共有のためのネットワークがあるため、新しい情報を即座に共有して、多様性に応じたリパック認定証の検定を実施できると判断しました。

HGクラスI日本選手権を開催 クラスV日本選手権は11月に延期

10月7日(木)から10日(日)まで、茨城県石岡市足尾山エリアで「2021ハンググライディングClassI日本選手権

in 足尾」を開催しました。

9月23日(祝)からの開催を予定していた「2021 Hang Gliding ClassV Japan Championship IN ASHIO」は、新型コロナウイルス非常事態宣言及びまん延防止等重点措置の期限延長の状況下だったため、開催を再度延期して、2021年11月20日(土)~23日(祝)で開催することを決定しました。

PGアキュラシー日本選手権 11月に朝霧高原で開催

11月27日(土)・28日(日)に静岡県富士宮市朝霧高原で「2021パラグライディングアキュラシー日本選手権 in ASAGIRI」を開催します。参加申し込みは11月12日(金)締め切りです。

2022年JHFカレンダー 頒布の準備中

第8回フォトコンテストの入賞作品と、応募作品から選んだ季節感のある写真で、2022年JHFカレンダーを作り、頒布します。

仕上がりサイズはA4。これを上下に広げて各月A3サイズの縦型吊り下げタイプです。JHF登録スクールでご購入いただくか、JHF事務局にお申し込みください。頒布価格は1冊500円(送料込)です。頒布の準備ができ次第、詳細をJHFウェブサイトでお知らせします。

クラス1 ハンググライディング日本選手権、不成立。

10月7日(木)から10日(日)まで茨城県足尾山エリアで「2021ハンググライディングClassI日本選手権 in 足尾」が開催された。

初日は天候不良でキャンセル。

2日目には、約51kmのタスクで烏山ゴールが設定され、9人の選手がゴール。若手の名草選手がトップゴールを決める。デイクオリティ(DQ)は1。

3日目はタスク設定されるも、強風と低い雲底のために競技は難しく、数人が飛んだがタスクストップ。結果、競技キャンセルとなった。

最終日は、南風の強風予報と低いサーマル予測、昼間雨の通過など、厳

しい気象条件のなか、タスクは34kmの芳賀ストレートゴールとなる。雲底は900m前後だが、雲底まで上げることができた選手は数名。上限高度が低く、サーマルも弱いなかで、トップの鈴木博司選手が22kmまで距離を伸ば

したが、DQは0.195に終わった。

ハンググライディングシリーズ大会としては成立、2日目にトップゴールをした名草選手が逃げ切って優勝を決めた。が、日本選手権の成立要件としてDQ1.2が必要という条件があり、無



選手・スタッフの皆さん、お疲れさま! 前列中央右が名草選手、左が野尻選手。

■ツリーランからの脱出講習

北海道ハング・パラグライディング連盟

北海道連盟では、これまで毎年、JHF資料の利用や本州の教員を招いたセミナーやクレーンを使ったツリーランディング講習を実施してきました。日程もフライトシーズンが始まる前の冬期や春先に設定しましたが、出席メンバーが限られ、新たな参加者が少ないのが現状でした。また、ツリーランの集合研修では、実際に体験できるのは一部の参加者で、他の参加者は見学に止まります。さらに研修終了後の反復練習をしないと、事故発生時に使えないなどの課題がありました。

そこで今年4月の道連盟総会で、参



ギャラリー(?)の応援を受けながら。

加者がそれぞれの都合で受講できる個人講習を実施することとしました。道内2カ所の教員へ個人が申し込んで受講、受講費用を連盟が教員に支払うシステムです。予算を30人分確保し、連盟のHPで6月7日に告知しました。

<https://h-hang-para.blogspot.com/2021/06/hhpf.html#more>

これまで、雨天や強風で飛べない時、平日などに、講師とフライヤーの都合に合わせて14名が受講しました。参加者からは、以下のような感想が寄せられ、他のフライヤーへの啓発や事業の継続が望まれています。

●パラグライダーの経験年数は長いですが、ツリーラン脱出はネットや本での



ひとつひとつの動作を真剣にこなしていく。

知識しかなく、受講して自分が無知であることに気付いた。また、道具の使い方、体の動かし方などができないことにも気付いた。理解しやすい説明や適切な指示を与えてくれ、パラグライダーをする人に受講を勧める。

●今まで独学をして、トレーニングは自宅でしかしていなかった。ハーネスでぶら下がってからの脱出は経験がなかった。今回トレーニングで、一度ミスしかけてしまい、本番なら危ない所だった。反復練習が重要なので、この事業は継続して欲しい。

●これまで数回の受講経験があったが、時間の経過と共に忘れてしまうこともあり、再認識する点や新たに気付く注意点など、反復練習の有効性を感じた。器具の点検では、必要度の低い物や収納方法の改良など学習した。自然の木にぶら下がっての身体の確保や各器具の使い方は、間違えると効果が薄れてしまう、或いは逆に危険を招いてしまうことなどもあり、正しい使い方を知る大切さを再認識した。

道内全体への普及はまだまだですが、この取り組みの有効性が確認されたので、今後に生かしていきたいと考えています。

●訂正とお詫び

前号9ページ「県連だより」で大阪府フライヤー連盟からのお知らせを掲載しましたが、同連盟が応援する対象となる方について、誤りがありました。訂正するとともにお詫びします。

正：□大阪府在住の方（JHFフライヤー登録番号が67から始まる方）

情にも1.195と、0.005（点数にして5点分）足りずに日本選手権は不成立となっていました。

昨年の不成立になった日本選手権でも名草選手が優勝しており、2年連続で勝者となるも日本選手権者にはなれないという残念な結果となった。昨年から非常に調子よく大会で活躍している名草選手、「来年こそは名実ともに日本一に」と誓っていた。

2021年の大会は今大会のみの成立であり、これから予定されている年内の大会はないため、今大会の成績で年間ランキングが決定されることとなりました。ランキングは追って発表しま

す。2023年に延期となった世界選手権に向けて日本代表選手も決定されるため、そちらも追って報告とします。

[総合]

1位	名草 慧	1113点
2位	大門 浩二	1097点
3位	鈴木 由路	1050点
4位	外村 仁克	1028点
5位	鈴木 博司	990点
6位	小高 史郎	987点

[女子]

1位	野尻 知里	908点
2位	櫻井さやか	605点
3位	内田 秀子	529点

(報告：JHFハンググライディング競技委員会)

訃報

2011年から京都府フライヤー連盟の理事長を務めてこられた坂本三津也氏が10月4日に亡くなりました。

坂本氏は1995年～96年に理事、1997年～2000年に監事、2014年～15年に教員・スクール委員と、JHF活動に貢献され、ハンググライディング世界選手権に3回出場するなど競技でも活躍。指導者として多くのフライヤーを育て、スクーター・トーイングによる安全講習に力を注いでこられました。ご逝去を悼み、心からご冥福をお祈りします。





第8回JHFハングライダー・パラグライダーフォトコンテスト最優秀賞 江端邦昭「朝霧の大野城」

写真で空の仲間を増やそう！

第8回JHFハンググライダー・パラグライダーフォトコンテスト 入賞作品発表

JHFフォトコンテストは、ハンググライダーやパラグライダーの写真を多くの人に見てもらうことによってこのスポーツの普及に繋げることを目的としています。毎年開催となって4年目、第8回を迎えた今回、コロナ禍にもかかわらず「ハンググライダー、パラグライダーの楽しさ、美しさを表現した写真作品」をテーマに、多くの応募をいただきました。ご応募、ありがとうございます。

フォトグラファーの嘉納愛夏さん、山本直洋さん、安田英二郎JHF会長が厳正な審査を行い、江端邦昭さん撮影の「朝霧の大野城」を最優秀賞に決定しました。江端さんは前回に続いての最優秀賞獲得です。入賞された皆さん、おめでとうございます！

なお、入賞作品と、応募作品のなかの季節感のある優れた写真を2022年JHFカレンダーにします。カレンダーの詳細は6ページ/JHFウェブサイトでご覧ください。

最優秀賞

江端邦昭「朝霧の大野城」

撮影地：福井県大野市

●受賞者から●

昨年に続き最優秀賞の受賞は夢のようです。ありがとうございました。

私の飛ぶ場所はほぼ決まっております。富山、石川、福井の3県です。普段は石川県の加賀市がほとんどですが、前日の空のコンディションにより、福井県大野市へも足繁く通っております。

福井平野は霧の出る確率の高い場所です。大野市はもう一つ多く霧が発生いたします。盆地で山に囲まれ、朝には微風が四方八方から吹くので、テイクオフの場所を決めるのに苦労する場所でもあります。また、上空は急に風が乱れたりして怖い場所でもあります。

平野はとてもきれいでお城もあり、見た目は天国かまほろばかと思われまします。盆地には九頭竜川、真名川と2本の川が流れ、日本百名山の荒島岳がそびえ、非常にロケーションの良い所です。荒島岳上空から御岳、乗鞍、穂高連峰、槍ヶ岳、立山、剣、そして眼前

最優秀賞 江端邦昭「朝霧の大野城」



に白山が見える素晴らしい場所です。

大野城は市内の外れの小高い小山の上に建っております。前は市内、後ろには田んぼと工場がまばらにあり、その後ろは山となっています。

100mほどの高みのお城だけが霧の上に見えることは、年に数回と聞いております。地面から霧が立ち込めた朝だけ見られるのです。霧が厚すぎても見えなくなります。町が霧に沈み、お城だけが見える時に飛ばば写真の姿が見られます。

テイクオフは霧の中を抜けて行くのですが、ご存じのように霧の中は霧雨状態で視界も悪く何も見えません。グライダーも濡れ、ラインもしずくが垂れ、着ているものもビッショリ、カメラも水の中に入れたようになってしまいます。レンズには水滴が付き、それはそれはたいへん苦労いたします。その中で飛びながら写真を撮るわけですが、家に帰ってパソコンを覗くまで出来、不出来はわかりません。

今回は霧の平野を含め、100枚以上シャッターを押しておりました。霧は陽が差し始めますと潮が引くように消えて行きます。夜明けから大体1時間が勝負となります。大変苦労した写真となりました。

●嘉納評●

雲海と光の差し方が見事な作品です。何となく見覚えのあるような…と思って蓋を開けてみたら、なんと昨年

も最優秀賞に輝いた江端さんの作品でした。

欲を言えばフライヤーではない一般の方にパラグライダーやハングライダーを感じさせてくれるような要素が欲しかったと思いますが、写真として十分完成されており、斜め上から立体的に捉えた雲に浮かぶような越前大野城は圧倒的です。

地上で暮らしていたら決して見ることのできない景色ですが、身近な観光スポットを幻想的に表現した作品を見せることによって、「ひょっとしたら挑戦してみたら私でも手の届きそう？」なロマンを感じさせ、フライヤーになるきっかけになるかも知れませんね。今回もおめでとうございます！

●山本評●

雲海に浮かぶ福井県越前大野城を上空から撮影した作品です。下界は全て雲海に隠れ、顔を出した標高249mの亀山頂上付近に陽が差し、木々の影に光の筋が伸びています。本当に美しく、大きくプリントして飾りたいと思わせる作品です。

この時間、この場所にいるためには、ある程度この地域の地形や気候を把握している必要があります。さらにこのクオリティの写真撮るには、ある程度の撮影技術や機材が必要となります。撮影者はおそらく雲海の下から離陸し、雲の切れ間を縫って高度を上げ



たのだと思いますが、雲海を抜けてこの景色が眼前に広がった時は筆舌に尽くしがたい感動があったと思います。その感動が伝わる作品に仕上がっております。文句なしの最優秀賞です。

優秀賞

佐藤博「富士に抱かれて」

撮影地：静岡県富士宮市

●受賞者から●

撮影は見て感じたままを切り取ろうというも思っていて、いつも違う顔を見せてくれる自然って素晴らしいと思っています。

写真は、雄大で圧倒的でカッコいい富士山に抱かれ、優しい青空に包まれて気持ちよくシャッターを切った1枚です。そんな1枚を評価していただき、とても嬉しく感謝しています。ありがとうございました。

●嘉納評●

高高度で富士山をバックに飛ぶハングライダーを、望遠レンズによる圧縮効果で迫力ある作品に仕上げたセンスのある写真だと思います。青空や富士山の冠雪も爽やかな空気や季節を感じさせますね。

天気や被写体がフレームインするタイミングなど、それぞれの選択・判断が素晴らしいです。

惜しむらくは、画面左上のパラグライダーが中途半端に写っていることです。こればかりはメインの被写体の位置でシャッターを切るはずなので、仕方のないのですが、非常にもったいない。運なのでどうしようもないのですが…。

しかしながら、大胆な思い切りのよい構図に「剥き身の人がこんなに高くまで飛んでる…!!」という驚きがあって、非常に惹きつけられる作品です。

●山本評●

ぱっと見でインパクトがあり、一番最初に目を奪われた作品です。

同じエリアでハングライダーやパラグライダーが飛んでいる写真はよく見ますが、バックの富士山がここまで大きく画面いっぱいに写っているものはあまり見たことがありません。撮影された時期も良かったです。富士山の山頂付近には雪がかぶっており、下には雲海が見えています。その間に挟まれるようにハングライダーが絶妙な

角度で映っており、富士山に負けない存在感があります。かなりの望遠で撮られたのだと思いますが、しっかりと構図で切り取られておりピントもしっかり合っていて写真の上手さを感じさせます。

ただ一つ残念なのは、左上を飛ぶパラグライダーとの対比が面白いのですが映っている位置が画面ぎりぎりすぎて、たまたま画面に入ってしまった感があることです。もう少しだけ余裕があればもっとよかったです。

●第8回フォトコン作品募集要項

テーマ：ハンググライディング、パラグライディングの楽しさ、素晴らしさ、そして身近なスカイスポーツであることを伝える

各賞と賞金：最優秀賞（1作品）5万円、優秀賞（1作品）3万円、入選（数点）各1万円

応募締切：2021年9月6日（月）

応募条件：プロ・アマを問わない、未発表の作品に限る、応募に伴う費用は応募者の負担とする

奥村絢「巻雲」

撮影地：茨城県足尾山エリア・ソラトピアつくばパラグライダースクール



加藤かおり「飛蚊症」

撮影地：兵庫県丹波市岩屋山



奥村絢「これで仲間入り」

撮影地：茨城県足尾山エリア・ソラトピアつくばパラグライダースクール



高橋一代「夕陽とキャノピー」

撮影地：茨城県桜川市桜川河川敷



加藤かおり

「幸せわんことパラグライダー」

撮影地：沖縄県石垣島米原ビーチ



吉岡憲生「テイクオフ」

撮影地：鹿児島県始良郡魚野エリア



審査員総評

嘉納愛夏

コロナ禍でのフォトコン開催は昨年に続いて2回目でした。自粛が続く、応募数自体が危ぶまれたようですが、楽しい作品が複数ありました。その中でも動物と絡めた作品はとても和みます。動物以外にも意外性のある作品はいくつかありましたが、「視点を変えた作品」というものはコロナ禍以前よりはトーンが落ちています。大掛かりなことをせずとも、撮影する目線の高さや画角、あおる、俯瞰する、といったことで驚きの効果が現れることも多いです。



全体的に同じシーンで撮影した少しずつ角度の異なる写真を何枚も応募されている方も何人かおられ、それは残念でした。違うものを撮った複数枚応募は大歓迎なのですが、同じものを同じ位置から撮る場合は「これがベストな一枚」、と自ら選んでいただきたいなと思います。(気持ちは非常にわかりますよ！ 迷いますし、ずっと見るとわからなくなりますからね…^^)

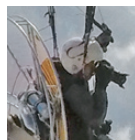
とはいえ、こんな時勢の中で応募していただきフォトコンが開催できて審査員をさせていただいたことがありがたいと思っています。来年もフォトコンがあるかはわかりませんが、もしあれば作品応募の方、よろしくお願いします。

ワクチン接種が進みこの先順調に

covid-19が終息するかはわかりませんが、自由に出掛けてみんなで空を楽しむ日がくることを願っています。

山本直洋

コロナ禍にもかかわらずフォトコンテストを開催できたことをとても嬉しく思います。思ったよりも多くの作品が集まり、入選以外にもカレンダー用の作品もバランスよく選ぶことができました。動物が映っている写真も多く、癒されました(笑)。ただ、やはりどうしてもバリエーションは少なくなり、見たことのないようなものやどうやって撮ったのかわからないような奇抜な作品は見当たりませんでした。これはコロナの影響で飛ぶ人が少なくなっているのと同時に、写真を撮るために出かける人も少なくなっているためだと思います。



写真を撮ることは不要不急の行動であるため自粛されている方も多いと思います。こんな時だからこそ、あえてコロナをネタにしたような作品もあったらもっと面白かったと思います。来年はコロナを笑い飛ばすような作品も集まるといいなと思っています。

安田英二郎

新型コロナウイルスの影響が強く残るなか多くの皆様のご協力を得て今



年もフォトコンテストを開催することができました。ありがとうございます。

今年もいいタイミングと光をとらえた作品が高い評価を受けました。

毎年のようにフォトコンテストに応募され毎年のように入選作を生み出されている方々もいらっしゃる、フォトコンテストはこういう方々に支えられています、新しい方の応募も常に大歓迎です。フライトに行ったときに美しい場面に出会ったら露出やアングルを工夫して美しい写真を撮ってください。構図やタイミングを変えて何枚もチャレンジしてみましょう。ハンググライダーやパラグライダーで楽しんでいる人を見つけたら楽しい写真を撮るチャンスです。

空中での撮影は小型軽量のカメラが必要うえに、操縦と撮影の両立のために難しい操作が必要ですが、地上撮影なら普段使っているカメラの性能をいかした作品作りが可能です。飛んでいないときも写真撮影の大きなチャンスです。

フォトコンテストでは美しい写真だけでなく楽しい写真も募集していますので、ぜひたくさん写真をご応募ください。過去の入選作品のいいところを吸収しさらにいい作品を撮影して応募していただくのを待っています。なお、コンテストへの応募はSNSやホームページ等で公開していない未発表作品に限られますのでご注意ください。

JHF 型式登録機／機材情報登録機

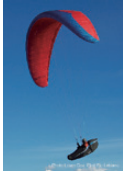
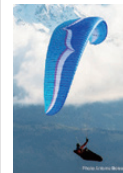
フライヤー会員登録、技能証制度、機体登録制度が、JHF活動の根幹である三本柱です。この三本柱のひとつ、機体登録制度をより広く知っていただくために、新規登録機情報を掲載します。

JHFでは現在、二つの機体登録制度、「型式登録」と「機材情報登録」

を運用しています。日本のハンググライダーディング初期に始まった「型式登録」は、現在、JHF安全性委員会が審査し判定しています。手続きが完了した機体に登録番号を付与、JHFが登録証明書を発行します。

また、2010年11月より「機材情報登

録」を、より広い範囲の機体情報提供のために追加運用しています。この「機材情報登録」は、輸入者／製造者／販売者が、販売機材を届け出て登録を行うことで責任の所在を明らかにし、JHFとして実態を掌握することを目的としています。

型式登録機								
登録番号	PI-1135～1138	PI-1139～1144	PI-1145～1149	PI-1150～1155	PI-1156～1160	PI-1161～1164	PI-1165～1170	PI-1171～1176
登録年月日	2021年 9月30日	2021年 9月30日	2021年 9月30日	2021年 9月30日	2021年 9月30日	2021年 9月30日	2021年 9月30日	2021年 9月30日
製造者	OZONE	OZONE	OZONE	OZONE	OZONE	OZONE	OZONE	OZONE
製造国	イギリス	イギリス	イギリス	イギリス	イギリス	イギリス	イギリス	イギリス
型式	ZENO S～L	DELTA3 XS～XL	ALPINA3 XS～L	RUSH5 XS～XL	SWIFT5 XS～L	ELEMENT3 XS～L	BUZZ Z6 XS～XL	MANTRA M7 XS～XL
認証	EN	EN	EN	EN	EN	EN	EN	EN
クラス	D	C	C	B	B	A	B	D
飛行総重量(kg)	75～125	58～130	58～115	55～130	55～115	55～125	55～130	60～130
適正技能証	XP証以上	P証以上	P証以上	P証以上	P証以上	A証以上	NP証以上	P証以上
輸入者名(販売者)	ファルホーク	ファルホーク	ファルホーク	ファルホーク	ファルホーク	ファルホーク	ファルホーク	ファルホーク
URL	www.falhawk.co.jp	www.falhawk.co.jp	www.falhawk.co.jp	www.falhawk.co.jp	www.falhawk.co.jp	www.falhawk.co.jp	www.falhawk.co.jp	www.falhawk.co.jp
型式登録機								
登録番号	PI-1177～1179	PI-1180～1184	PI-1185～1189	PI-1190～1192	PI-1193～1197	PI-1198～1201	PI-1202～1207	PI-1208～1212
登録年月日	2021年 9月30日	2021年 9月30日	2021年 9月30日	2021年 9月30日	2021年 9月30日	2021年 9月30日	2021年 9月30日	2021年 9月30日
製造者	OZONE	OZONE	OZONE	OZONE	OZONE	OZONE	OZONE	OZONE
製造国	イギリス	イギリス	イギリス	イギリス	イギリス	イギリス	イギリス	イギリス
型式	ZEOLITE S～ML	GEO6 XS～L	MOJO6 XS～XL	ZEOLITE GT S～ML	MANTRA LM7 XS～L	JOMO2 XS～L	DELTA4 XS～XL	ALPINA4 XS～L
認証	EN	EN	EN	EN	EN	EN	EN	EN
クラス	D	B	A	D	D	A	C	C
飛行総重量(kg)	65～105	55～115	60～130	65～105	60～115	60～115	55～130	55～115
適正技能証	XP証以上	NP証以上	B証以上	XP証以上	P証以上	B証以上	P証以上	P証以上
輸入者名(販売者)	ファルホーク	ファルホーク	ファルホーク	ファルホーク	ファルホーク	ファルホーク	ファルホーク	ファルホーク
URL	www.falhawk.co.jp	www.falhawk.co.jp	www.falhawk.co.jp	www.falhawk.co.jp	www.falhawk.co.jp	www.falhawk.co.jp	www.falhawk.co.jp	www.falhawk.co.jp

第43回鳥人間コンテスト 東京都立大学が両部門優勝！

報告：山本 貢

去る7月31日から8月1日にかけて、琵琶湖で鳥人間大会が開催されました。

新型コロナの影響により、昨年のこの大会は中止となりましたが、今年はそれに対し万全の対策を実施し、人数制限、3密禁止、無観客で行われました。

はじめに滑空機部門。

気象状況が良好な中、競技を始めてすぐに、東京都立大学の人力飛行機研究会MaPPLが451mを記録。これは、学生記録、女性記録、そして、チーム記録をも更新していました。

近年大記録を出している日大生産工は265mと意外に伸びず…。

最後は九州大学、パイロットは菊池正真選手。彼はバリバリのハングフライヤーで、その操縦は見事なものだったのですが、残念にも、脚、そして、ハッチがうまく閉まらず、それが水面をたたいてしまい、記録が伸びませんでした。

これにより、今年の滑空機部門優勝は、MaPPLに決定します。

続いて人力プロペラ部門です。

気象条件そのものは良かったのですが、記録がなかなか伸びません。

そんな中、チームエアロセプシーの鈴木達郎選手が快調に距離を伸ばしま

す。実は彼のお父さんは鈴木正人氏。現在鳥人間大会の審査員の一人となっている方です。かつて父が設計した機体「極楽トンボ」を、達郎選手が倉庫から引っ張り出しての参戦でしたが、残念にも途中で空中分解してしまい、記録は4650mにとどまります。

この後距離を出したのは、東京都立大学の鳥人間部T-MIT。若干蛇行しながらも5221mを飛びます。その後のチームはなかなか記録が伸びず。

最後は鳥人間史上最強ともいわれるBIRDMAN HOUSE伊賀の渡邊悠太選手です。機体重量21kgという、鳥人間人力プロペラ機史上最軽量の機体で挑戦。

機体が常識を破るくらい小型なため速度が速く、伴走する船もやっと追いつけるレベルです。

新ルールの北方向ルートを回り、再

び会場まで戻ってきましたが…。追い風が強かったこと、そして、機体がいのほか高性能であったために、プロペラを止めてもなかなか着水できずに、飛行禁止区域に侵入しての着水になってしまいました。

この出来事について、番組側、審判員、審査員が話し合いますが、非常に残念ながら全員一致で「失格」になりました。

優勝は東京都立大学T-MITとなりました。しかし、実力的にはBIRDMAN HOUSE伊賀が文句なく現在一番です。

今後、このチームのリーダー渡邊氏が、他の人力プロペラ機部門のチームを引っ張る形で、鳥人間大会が発展していくことを望みたいです。

*JHFは「鳥人間コンテスト」に協賛しています。



滑空機部門優勝、東京都立大学MaPPL



人力プロペラ部門優勝、東京都立大学T-MIT

北マケドニア・アルゼンチンでPG世界選手権開催

新型コロナウイルス感染症の収束が見えず、国際大会の多くが中止や延期になってきましたが、第11回FAIパラグライディングアキュラシー世界選手権、そして、第17回FAIパラグライディング世界選手権が開催されることになりました。

このJHFレポートがお手元に届く頃にはアキュラシーの競技は終わっていますが、クロスカントリー競技は熱戦の最中です。日本を代表する選手たちに力強い応援を！

なお、今年7月に北マケドニアで開催予定だった、クラス1とクラス5のハンググライディング世界選手権は、2023年の開催となりました。

第11回FAIパラグライディングアキュラシー世界選手権

開催日：10月7日～16日

開催地：北マケドニアPrilep

日本チーム：

岡 芳樹（兼チームリーダー）

古賀光晴 山口香代

第17回FAIパラグライディング世界選手権

開催日：10月31日～11月13日

開催地：アルゼンチン Tucumán

日本チーム：

廣川靖晃 岩崎拓夫 成山基義

小林大晃 平木啓子

長島信一（チームリーダー）

北マケドニアから

パラグライディング競技委員会の現地報告によると、アキュラシー世界選手権は開幕から天候に恵まれず、5日目ようやく競技を開始することができました。ウインチチームのコロナ罹患によって諦められていたトーイングでの競技が可能となり、6日目はトーイングに。ラウンド2で古賀選手がDC（0 cm）を踏み、順位を上げました。一方、トップランカーのスルーガ選手（スロベニア）、セルビアの第一人者、ゴラン選手がMAXスコアで実質的な戦線離脱という大番狂わせもあり、いろいろ波乱の世界選手権です。（JHFウェブサイト、PG競技委員会ページより）

日本学生フライヤー連盟 (JSFF) の齋藤です。今回は学生の活動状況、今後の活動について話したいと思います。

まず現在の活動状況ですが、昨年の夏休みと比較すると、だいぶ活動している学生が増えたように感じます。当然、コロナ禍以前に比べたら講習や空を飛びに来ている学生は、各地区共に減少していますが、初飛びしている学生や昇級している学生フライヤーもい



ハングもパラも初飛びの嬉しいニュースを度々耳にする。

て、嬉しいニュースも度々耳にします。

私が活動している足尾では、新入生数名が集い、ミニ合宿を行いました。感染対策等の関係で砂丘合宿のような大規模な合宿を開催することが困難であったため、感染対策を徹底したうえで、新入生が主体的に活動してくれているのは非常に嬉しいことです。協力してくださったイントラさんや社会人の方々、ありがとうございました。今後もこのような合宿を開催していきたいと考えているので、ご協力をよろしくお願いいたします。

続いて今後の活動についてですが、ハングは、龍門での学生選手権と荒神山での新人戦が、パラは、足尾で学生選手権が例年であれば開催される予定です。今年度は、龍門と足尾は開催する方向で話を進めています。荒神山に関しては、大会参加資格のある学生の人数が確認でき次第、話を進めていく予定です。コロナ禍に適応した楽しい大会を開催できたらと考えています。

学生は約2年間、大会を企画・運営することができていないため、例年と

比較すると多少手際が悪くなるのが予想されます。温かい目で見ていただけると幸いです。

また、今後は学生大会も積極的にライブトラッカーを使用していきたいと考えています。まずは、タスクを組む必要がある競技から使用していきたいと考えております。ライブトラッカーは、集計が楽になるだけではなく、万が一の時のためにSOSが発信できるといった安全面においても活躍できる非常に便利なアイテムなので、学生フライヤーの皆さん、ご協力をお願いいたします。

最後に、稲刈りが終わり、上級生、新入生共に楽しい季節がやってくると思います。事故には十分気をつけて、周囲の安全を確保しながら飛んでください。特に女性は2002年生まれの新入生が、男性は1997年生まれの方が本厄です。厄払いにまだ行っていない方は、今年も残りわずかではありますが是非厄払いに行ってください。人間、神頼みも時には重要です。人事を尽くして天命を待つではありませんが、すべき努力をしっかりと、みんなで楽しく空を飛びましょう。

JHFからのお知らせ

■HG教本／PG教本を好評頒布中

ハンググライディング技能証規程の改正に伴い、教本の内容も大幅に見直し、『JHFハンググライディング教本改訂版』を2021年6月に発行、頒布を開始しました。A4サイズ、224ページ、モノクロ印刷。

また、2021年3月、皆さんにお待ちいただいていた『JHFパラグライディング教本改訂版』を発行しました。A4サイズ、176ページ、カラー印刷。

どちらの教本も、写真や図を用いてわかりやく解説しています。入門者はもちろんのこと、既に経験を積みフライトを楽しんでいるパイロットにもぜひ読んでいただきたい内容です。

HG教本、PG教本とも、1冊3,000円(送料込み)。一度に10冊以上ご注文の場合は、1冊2,800円です。JHF登録スクールまたはJHF事務局にご注文く

ださい。事務局にご注文の場合は、JHFウェブサイト「JHFのご案内[書籍情報]」から注文書をダウンロード、必要事項をご記入ください。代金をお



振り込み(送金手数料はご負担ください)のうえ、注文書と代金振り込み控えを郵便またはFAXでJHF事務局にお送りください。ご入金を確認後、教本を発送します。

■チェック5タグを頒布中

JHFではハンググライディング・パラグライディングの事故撲滅を目指して「空の事故ゼロキャンペーン」を実施。その一環として「チェック5タグ」を作り、2018年にフライヤー会員の皆さんにお届けしました(新規会員の方には登録時にお届け)。

ハーネスなどに装着し、テイクオフ前にタグを読み上げて、プレフライトチェック(セルフチェックならびにクロスチェック)をしっかりと行ったことを確認していただくためのものです。

今年もレッグベルト締め忘れによる重大事故が起きてしまいました。「自分は大丈夫、ベルトを締め忘れるはずがない」と思い込むことなく、タグを

読み上げての飛行前確認をぜひ習慣にしてください。

このタグをご希望の方は、各地のJHF登録スクールでお求めください。JHF事務局から直接お送りすることもできます。1セット300円（送料込み）です。事務局にメールかFAXでご連絡をお願いします。

■氏名・住所変更のお知らせを

発行のたびにJHFレポートが宛先不明で事務局に戻って来ます。お名前やご住所に変更があったら、早目に事務局にメールかFAXで下記をお知らせください。

- ・フライヤー会員番号
- ・お名前
- ・新しいご住所
- ・連絡先電話番号
- ・メールアドレス

もしもお仲間に転居された方がいたら「JHFに住所変更の連絡した？」

と声をかけていただけると、たいへん助かります。

■転居のお知らせや各種申し込み

お問い合わせはJHF事務局へ

公益社団法人

日本ハング・パラグライディング連盟

〒114-0015 東京都北区中里1-1-1-301

TEL.03-5834-2889 FAX.03-5834-2089

E-mail:info@jhf.hangpara.or.jp

https://jhf.hangpara.or.jp

事務局業務の効率化のため、ご連絡はできるだけメールでお願いします。回答が通常より遅れることがあります。が、順次対応をいたしますのでご理解ください。

*このJHFレポートには、賛助会員からのお知らせを、神奈川県、佐賀県在住の方には県連盟からのお知らせも同封しています。

被災地復興 応援プロジェクト 「空はひとつ」

東日本大震災被災地への義援金を引き続き募っています。

◇義援金振込先

三菱UFJ銀行（銀行コード0005）

巣鴨支店（店番号770）

口座番号 普通 0017991

口座名義 公益社団法人日本ハング・

パラグライディング連盟

JHFレポート235号

発行日：2021年（令和3年）10月30日

発行：公益社団法人 日本ハング・パラグライディング連盟（JHF）

編集：JHF事務局

印刷：株式会社アイセレクト



www.toto-dream.com www.toto-growing.com
① 19歳未満の方の購入又は譲り受けは法律で禁じられています。払戻金も受け取れません。
運営・販売：独立行政法人日本スポーツ振興センター

上空利用可能デジタル無線機 使用のお勧め

2022年にアナログ式簡易無線機の運用が終了することに備えて、JHFではハンググライダーやパラグライダーのフライト中に使用する無線機として「簡易無線登録局」対応のデジタル無線機の使用を推奨しています。

上空利用5チャンネルを搭載、デジタル方式の音声なので、混信もすくなくクリアで聞き取りやすくなっています。現在の対応機種はSTANDARD製のVX-291S、VXD450S、VXD1S、ICOM製のIC-DPR30、IC-DPR4、KENWOOD製のTPZ-D510です。

JHF賛助会員(JHFウェブサイトにはバナーを掲載)からも購入することができます。

なお、JHFではSTANDARD製デジタル無線機を15台保有し、フライヤー会員に貸し出しをしています。ご希望の方はJHFウェブサイトの「JHFのご案内」をご覧のうえお申し込みください。

すでにデジタル無線機をお持ちの方は、無線機の登録手続きを済ませ利用料を納めているか、ご確認ください。登録をしないまま無線機を運用すると、不法無線局として処罰の対象になります（1年以下の懲役または100万円以下の罰金）。お忘れのないようお願いします。